

一羊会だより

発行
 社会福祉法人一羊会
 事務局 〒663-8241
 西宮市津門大塚町1-47
 電話 (0798) 31-1760
 FAX (0798) 31-1763



今号の表紙写真は、展覧会『舛次崇～静かなまなざし～』『富塚純光～かたりべの記憶～』の会場にて、舛次崇さんのポートレートパネルに向き合う富塚純光さんです。

「舛次くんと一緒に個展がしたいです」と兼ねてから公言していた富塚さんの夢が叶った瞬間でした。展覧会の詳細は、あとりえすずかけ新聞のページでお届けしています。

特集

- 事業所紹介『すずかけ作業所』……………4・5
- あとりえすずかけ新聞……………6・7
- 一羊会後援会のページ……………16・17
- 地域共生ページ・Boleh！……………20



一羊会ホームページ
へはこちらから

「今年度も根気強く…」

理事長 三浦 昇

いつも一羊会の取り組みにご支援いただきありがとうございます。

新型コロナウイルスの収束はいつの事やら…と日々感染情報と向き合っている今日この頃ですが、一羊会の事業も心抑えて活動の幅を制限した中で現場、本人、保護者との協力のもと取り組んでいることに感謝です。

「すずかけ作業所」の移転建て替え工事は順調に進み、去る4月3日に石井市長にもご臨席いただき、ささやかながら無事竣工式を行うことができました。

設計監理いただいた平田建築設計(株)の皆さん、建築に当たっていただいた(株)岡工務店の皆さん、コロナ禍での紆余曲折がありながらも竣工の日を予定通り迎えられたことに深く感謝いたします。

又、新型コロナの影響で昨年開催予定だった外次、富塚両名の絵画展も6月30日から兵庫県立美術館で開催されました。

30年ほど前、絵本作家の秦さんとの出会いから、絵画クラブの活動が始まり、当時のアウトサイダーアートとして全国的に注目を集め、すずかけのアートとして定着してきた歴史を感じます。

絵画展示は二人の独特の感性とこれまでの営みが伝わり、久々の感慨深い素敵な絵画展でした。

さて、社会福祉法人制度改革から4年が経過し、任期満了に伴う一羊会評議員、役員(理事・監事)ともに改選がありました。

評議員には新たに、西宮市民生委員・児童委員会理事である今井玲子氏、西宮市手をつなぐ育成会副会長である泉明子氏・梅谷正子氏が選任されました。理事には新たに、西宮市手をつなぐ育成

会会長である本田洋子氏、元西宮市社会福祉事業団事務局長である市原博氏が選任されました。理事長は引き続き三浦が再任されました。

また今期より新たに設けられた副理事長に市原博理事が就任いたしました。

これまで担っていただいた藤井圭子、本田洋子、宮脇葉子評議員、近藤真由美理事の皆様ありがとうございました。

又、再任いただいた評議員、役員の皆様、新たに就任いただいた評議員、役員の皆様よろしくお願いたします。

社会福祉法人一羊会 評議員名簿

任期 自 2021年6月23日
至 2025年度定時評議員会終了時

氏名 (50音順)	経歴・現職
泉 明子	(一社)西宮市手をつなぐ育成会 副会長
今井 玲子	西宮市民生委員・児童委員会 理事
梅谷 正子	(一社)西宮市手をつなぐ育成会 副会長
太田 博	会社代表取締役会長 元 西宮市社会福祉事業団 理事
岡崎 公典	元 夙川学院短期大学 学長・児童 教育学科教授/元 神戸教育短期 大学附属認定こども園 園長
篠原 正寛	西宮市市議会議員
日高 昭夫	北六甲台地区社会福祉協議会会長
諸富 真一	会社代表取締役社長

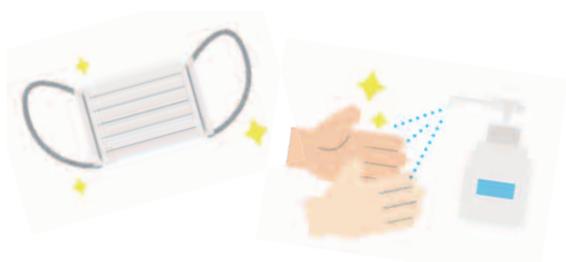
社会福祉法人一羊会 役員名簿

任期 自 2021年6月21日
至 2023年度定時評議員会終了時

役名	氏名	経歴・現職
理事長	三浦 昇	一羊会 部長
副理事長	市原 博	西宮市手をつなぐ育成会理事／元 西宮市社会福祉事業団事務局長
理事	本田 洋子	(一社) 西宮市手をつなぐ育成会 会長
理事	森田 順	会社顧問 元 西宮市都市局長
理事	山崎 玲輔	特定非営利活動法人 兵庫セルフセンター 理事長
理事	久保 廣高	一羊会部長
理事	山岡 賢治	一羊園管理者
監事	谷 寿夫	元 (社福) 神戸聖隷福祉事業団 施設長
監事	永岡 稔	税理士
監事	岡本 征	(社福) 光耀会 理事長

終わりに、ここ数年、生活支援の取り組み等、思うように事業展開が進まない現状が続いていますが、職員集団は日々コロナ対策にも問題意識を共有しながら、一人一人の支援に気持ちを込めて付き合ってくれています。

事業展開の課題は生活支援を重点課題としてスタッフ確保に日々努力しながら、具体化に向けて、あきらめず根気強く進めてまいりますので今後ともご支援、ご協力の程よろしく願いいたします。



副理事長就任にあたって

市原 博



この度、一羊会の副理事長に就任致しました市原です。

私は、西宮市社会福祉事業団



で福祉に携わってまいりました。西宮市社会福祉事業団は障害福祉・高齢福祉・児童福祉等、多岐に及んでおり、職員の異動もありました。私も障害福祉から始まり、高齢福祉、法人本部と経験してきました。

今回、副理事長就任の話を頂いた時に、障害福祉を専門にやってきたわけではない私に出来る事があるのか悩みました。しかし一羊会を外から見てきたからこそ何か出来る事があるのでは、また利用者の高齢化については以前から聞いておりましたので、一緒に考えていけるのではないかと思います、受けさせて頂きました。

就任して、今はまず各事業所の状況確認の為、施設等を回らせて頂いています。昔のすずかけの各施設しか知らなかった私としては、各施設の事業内容や役割の変化に少し驚かされています。そんな中でも、変わらず日々の取り組みを精一杯頑張っている利用者の方々と会い、また、私がいた施設(いずみ園)からすずかけ各施設へ行かれた利用者の方と久しぶりに再会もしました。中には私のことを覚えていてくれた方もおられ、利用者の方と会う事で、私自身元気になり、やる気も増してきたような気がしております。

これからは、一羊会の一員として、微力ながらも頑張っていこうと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

事業所紹介 —すずかけ作業所—



西宮市今津出在家町に移転し4ヶ月が経ち、新しい環境に利用者の方も職員も徐々に馴染んできました。

移転前と変わらず働ける作業所として、また高齢になった方の身体機能の維持や、年を重ねても働く意欲のある方ができる作業の充実を目指しています。

広く開放的な空間、全面バリアフリー化、歩行浴室を備えるなど、安心して過ごせる場所として、また、これまでと同じように「働く」ことにも注力して取り組んでいます。

新しい環境、新しい設備、新しい取り組み

— 新たなすずかけ作業所で過ごす利用者さんの様子と合わせてご紹介します。

カーム班

カームとは、“穏やかな”“落ち着いた”という意味合いがあり、移転に伴い新たに作られた班です。身体機能の維持を目的とし、個々の体調に合わせて運動や余暇活動を行っています。他の班の方でも、その日の調子によってカーム班で過ごすこともあります。



腹筋や階段昇降、運動器具の活用など取り組みはさまざま。専門職からのアドバイスをもとに、ストレッチや道具を使って運動しています。



バルコニーのウォーキングは体力づくりだけでなく、他の班の様子を覗くこともでき、良い気分転換になります。



毎月の予定表などを各班に届ける大切な役割。
1枚ずつ名前スタンプを押してお届けしています。
小道具は職員の自信作。

木工班

まずはDIYで作業台を作るなど、環境づくりから。利用者みなさんは廃材を利用し、お皿や小物など自分で考えたものを作っています。木を削る・ヤスリをかけるなどの作業をしながら、道具の使い方を覚えスキルを磨いています。



職員が外部の木工教室に通い、基本的な知識や技術を学びました。それを活かし、オリジナルデザインの商品販売を目標に取り組んでいます。



木の表面を丹念にやすりがけ、まな板に仕上げているところ

移転して変わったこと、現場職員に聞いてみました

【利用者さんの変化について】

旧すずかけ作業所から引っ越しをして、ハード面の環境が大きく変わりました。旧館であれば館内が狭く“のいてよ！”と怒って落ち着かない方もいましたが、引っ越し後、館内が広くなった事もあり、苛々される事がなくなり穏やかに過ごされる様になりました。また、午睡が以前から上手く出来なかった方も、静かな環境になった事で、自分から仮眠室に入られる様子が見られました。

武庫川すずかけ作業所から異動されてきた2名の利用者の方々は、初日より以前から在籍されていたのかと言わんばかりに、緊張される事もなく各々が居場所を見つけられ落ち着いて過ごされています。

【環境が良くなった事で、利用者さんの介助がしやすくなった事】

以前であれば、トイレが狭く車椅子対応の方の移乗も大変でしたが、車椅子をトイレ内に入れる事が出来る広さになり、バリアフリー化した事で、ご自身で手すりを持って支援員の一部介助で移乗出来るようになり、支援員の負担も軽減されました。

支援環境が整ったりニーズに応じた班の再編により、個別の活動に時間をしっかりとれる様になったので、一人一人と関わる時間を大切にしていきたいと感じています。

【カーム班 仲泊 兼三郎】



藤本さんの57歳のお誕生日をみんなでお祝いしているところ

取材で垣間見た光景

ひと仕事したあとの一杯



ロビーには自動販売機があり、みなさん気軽に利用しています

サニースポットのオンライン面会



すずかけ作業所から別の事業所に移られた方と久しぶりの交流でした

朝礼当番がある屋外1班



今日の予定をホワイトボードに書き込んでいる表情は真剣そのもの

利用者さんが思ったより早く馴染んでいたのは嬉しい誤算。作業スペースだけでなく、廊下やロビーなどゆとりある空間で落ち着けることも理由の一つでしょうか。休憩中はそれぞれ居心地の良い場所を見つけて過ごしています。

あとりえ すずかけ 新聞

第22便 2021. 8
撮影／編集：神田 浩平

展覧会『舛次崇～静かなまなざし～』『富塚純光～かたりべの記憶～』が2021年6月30日～2021年7月6日の間、兵庫県立美術館ギャラリー棟3階にて開催されました。会場の広さは800平方メートル、壁の高さが7.2メートル。その中に展示された作品の点数は舛次さんが100点、富塚さんが30点です。過去にすずかけ絵画クラブが企画してきた展覧会の中でもかつてない規模となったこの展覧会。会場は連日たくさんのお客さんと賑わい、6日間の開催期間に訪れて下さった方はなんと累計860人に及びました。



富塚さんが幼少期に家族で訪れた「宝塚ファミリーランド」を描いた作品。スタンドグラスの様な煌びやかな美しさを会場内で放っていました。

富塚純光さんご本人も2度来場されました。会場では、舛次さんの作品を感慨深げに1枚1枚観て周り、「舛次くんの絵は楽しい」と一言。ご自身の絵の前ではじっくりと内容を確認するようにして絵を眺めていました。写真であとりえずかけの三栖職員と一緒に観ているのは、長さ8メートルの巻物となった大作の物語作品です。並べて展示された物語の文章と照らし合わせながら、絵の隙間を埋める様に細かな文字で綴られた物語を、多くのお客さん達が楽しまれていました。



すずかけ絵画クラブの仲間達をはじめ、たくさんの方々の利用者の方々や職員、法人利用者のご家族の皆さんが会場へと詰めかけてくださいました。



舛次さん愛用の絵画道具セットを寂しげに見つめていたのはすずかけ第2作業所の小山充基さん。

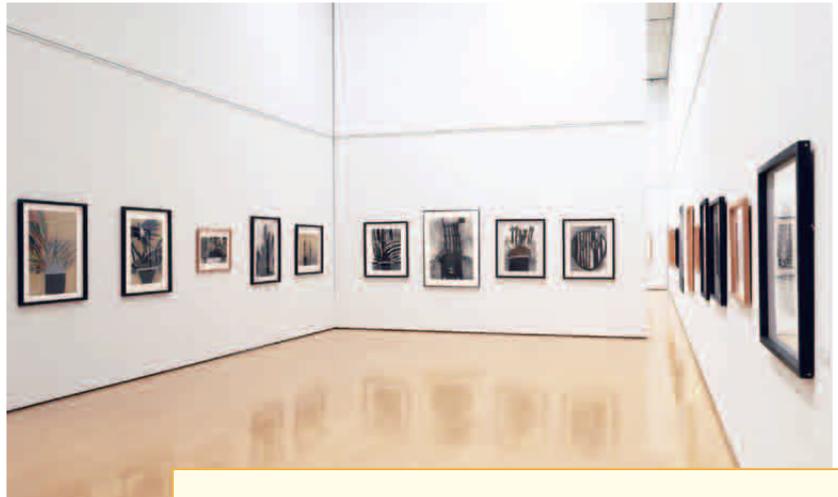


舛次さんの作品「南瓜」のプリントTシャツを着てきて、図らずもペアルックになっていた職員ふたり。



すずかけ作業所の藤井利美さんがじっくり眺めていたのは『ハンガー』の絵。

舛次さんの展示では、作品が制作された年代順に並べられました。30年近い画家としてのキャリアの中で、描くモチーフが変わっていき、舛次さんの表現方法も少しずつ変化を繰り返して、洗練されていった様子が体感できる展示となりました。



初期の植木鉢シリーズなどが
ならんだ入口付近のエリア→

展示された作品数の多さと1つ1つの絵が放つ力の強さに驚き、圧倒されたとお客さんがたくさんおられました。舛次さんをよく知っている作業所職員達も「まさか、こんなにたくさん絵を描いていたなんて！」と声を揃えていました。

絵の中に残る、舛次さんが納得いく線が描けるまで何度も消しては描き直した跡。それを迎っていると「舛次さんがそこに蘇ってくる様で…」と涙を流していた職員もいました。



通称「動物の部屋」と呼ばれた動物の絵だけを並べた小部屋では、コウモリやヘラジカ、ゾウにクラハシコウといった動物たちが、ひっそり息を潜めるようにしてお客さんを待っている様でした。



2010年代中盤に描かれた四つ切作品が美しく並べられた壁面。この頃にはより抽象的な表現に変わっていきました。



ご自身の描いた絵が大好きだった舛次さん。きっと会期中も会場にずっと居て、お客さんがご自分の絵に魅入っている様子をニコニコと眺めていらしたのではないのでしょうか。

舛次さん富塚さん、素晴らしい展覧会をありがとうございました！



1. 組織管理

役職体制については、年度初めに部長・課長に1名ずつ昇格を実施、管理職として順調に重要な法人業務を担っています。但し次世代の育成には至らず、新たな役職昇格や部長兼務解消ができないまま2021年度体制となっており課題を継続しています。

監事監査については、コロナ禍により決算時監査は限定的でしたが、落ち着きを見せた時期での中間監査にて補足。指摘・指導を頂き改善に努めています。

2. 財務管理

すずかけ作業所の移転建替工事は順調に終了し、大きな追加費用が発生することもなく、ほぼ年度当初に計画通りの自己資金及び国庫補助・借入金にて建築費の支払を完了しています。解体費や備品等一部の支払は2021年度に残っていますが、必要資金は十分確保した上で、採算が難しい事業も支えながら、将来の修繕等に向けた積立金も確保出来ています。

本部から各事業所への巡回は定期的を実施。顧問税理士も含めて各事業所の会計状況を確認するとともに収支検討をしています。公認会計士による会計調査は8～10月にかけて実施。過去に指摘された内容は多くが改善されていますが、新たな指摘や継続課題もあり、法人内で内容を共有して改善に取り組んでいます。

3. 人材マネジメント

①人材確保

新卒については、対面の就職説明会はコロナの状況が少し落ち着いていた頃に2回実施したのみで、あとは電話での個別説明会を実施しました。緊急事態宣言下では、面接はオンラインで行い、実習も緊急事態宣言下では行わずコロナの状況が落ち着いてから実施しました。

3回のオンラインでの内定者研修会も経て、最終的には8名の新卒採用ができました。2021年度は、個別説明会もオンラインで実施しようと考えています。

中途採用については、「ハローワーク」、「福祉のお仕事」といった公的な採用媒体と民間の採用媒体機関を併用し募集を行ないました。また、人材派遣や人材紹介も状況に応じて活用しました。

②人材育成と定着

法人内の研修は、一羊会研修システムに則って実施しました。コロナの影響もあり実施時期は多少前後しましたが、オンラインで実施することにより、新人研修、全体研修、権利擁護の研修などを予定通り実施できました。人材定着については、職員の働く環境の整備のため検討しました。2021年度にオンライン医療相談導入等の一部実施に向け継続していきます。

4. 事業展開

①すずかけ移転建て替えについて

2021年3月31日に引き渡しも終了し無事完成しました。プログラム・班構成・部屋のレイアウトなど細部の調整は、すずかけ作業所内の移転建替プロジェクト内で進めスムーズな移転に向けての準備を行いました。

②グループホームの開設

元浜ホームは、ホーム利用者が発熱など起こした時の隔離場所として活用したので、開設には至りませんでした。北部ホームについては、ほぼ検討ができませんでした。

5. 利用者支援サービス

①就労支援

行政の要望に関しては、コロナウイルスの影響で懇談の機会を持つことはできませんでしたが、優先発注業務について、「利用者のしょうがいの程度・特性に合わせた業務内容と、事業所の利用者数に見合う作業量の発注」を提出しました。それに対し、「就労支援施設等が対応可能な業務は既に発注していると考えておりますが、今後も引き続き発注可能な業務について検討してまいります。」との回答をいただきました。優先発注額も大幅に減額となっていますので、2021年度も引き続き要望を行っていきます。

作業開拓については、コロナウイルスの影響での自粛等もあり、現作業を行う事を優先的に行ったため取り組むことができませんでした。

就労継続支援B型の目標工賃(約3万円/月)達成に向けては、法人全体として受託業務が前年度より約10パーセントにあたる約750万円減となり、現在の支援費区分が下がるよう作業の調整を行う事を優先して行いました。

就労継続支援A型は、総合相談や就労支援センターにも公募をしましたが応募が無く、また、就労継続支援A型に見合う最低賃金を保障できる収入の業務確保も叶わず、運営面も考慮し廃止となりました。しかし、障害者雇用、利用者の労働には、継続して取り組んでいきます。

高工賃を目指す事業所の利用者確保に向けては、特別支援学校や就労支援センター等の関係機関とも連絡を取りながら募集を行い、すずかけ労働センター1名(新卒)、上甲子園すずかけ作業所1名(中途)の利用者を受け入れました。

②日中活動支援

すずかけ作業所の移転に向け、混在している利用者ニーズの整理を行いすずかけ作業所への事業所変更を4名実施しました。また、上甲子園すずかけ作業所から武庫川すずかけ作業所への事業所変更も1名実施しました。

利用者の加齢による状態変化に対応するために専門職や各関係機関と連携を取り、ニーズの充足にあたりました。

③支援専門性の向上

2020年度は、新型コロナウイルス感染症への対応等もあり、外部よりスーパーバイザーを招いたコンサルテーションや、法人内のサービス向上部会を活用した取り組みを思うように進めることが出来ませんでした。一方で、オンライン環境の整備を行い、オンラインでのコンサルテーションや研修受講など、方法を変えて、支援専門性の向上に努めました。支援現場で基本となる利用者のアセスメントについても、オンラインでの法人内研修を実施しております。

当面の間、新型コロナウイルス感染症の影響は続いていくと思われるので、オンライン環境を活用したスーパーバイザーによるコンサルテーションの実施や法人内サービス向上部会の開催などを行い、法人全体で質の高いサービスを提供できることを目指していきます。

④権利擁護・虐待防止

上半期は新型コロナウイルス感染症の影響で権利擁護部会を開催できませんでした。年に2回実施している行動規範評価については、各事業所の部会員と連絡を取り合って1回目の評価を7月に実施し、各事業所において課題の整理と取り組みについて話し合いを持ちました。WEB環境が整った10月からはオンラインで部会を開催し、10月の部会において1回目の行動規範評価の結果報告会を行いました。2回目の行動規範評価は予定通り12月から実施し、3月の部会で結果報告会を行っています。

事例集の編集については10月以降の部会で毎月話し合いを持ち、年度末に概ね取り纏めることができました。2021年度にこの事例集を基にした勉強会をオープン部会として実施する予定です。

サービス評価については、新型コロナウイルス感染症の影響から評価をする時間を取ることができず、実施することができませんでした。

12月に不適切発言が発生しました。法人懲罰委員会、西宮市法人指導課からの指導を踏まえ、2021年度以降も重点的に対応していきます。法人全体として研修計画の立案、行動規範・サービス評価の計画的実施を進め、どのような状況であれ取り組むべきことをしっかり取り組んでいきたいと考えています。

⑤危機管理

新型コロナウイルス感染症の影響により4月～9月はリスクマネジメント部会での事故報告の共有ができません

でしたが、10月よりオンラインでの部会を再開しています。転倒事故について、ひとつのケースを事例にあげて要因分析を行い各事業所で共有することができました。

新型コロナウイルス対策について、管理者会議、部長会議にて継続的に時間をかけて話し合い、対策備品在庫リスト一覧表を作成したり、建物消毒、食事や歯磨き介助の際のフェイスシールド着用等、これまで事業所ごとにできる範囲で対応していた内容について、法人で統一した基準として感染症対策を行うこととなりました。他にもPCR検査を受けた方が出た際の手順や、陽性者が出た際のチャート等も作成しました。今後はそれらを整理してマニュアル化していきます。

行方不明マニュアルについて見直しを行い、警察への届け出をスムーズにできるように、これまで使用していた検索ピラの書式を改良しました。

防犯カメラ運用規定を作成し、防犯カメラ設置に係る家族への説明時と警察等外部からの視聴の依頼があった際に活用しています。

避難訓練・応急救護研修・消防自主点検の実施状況の確認はリスクマネジメント部会にて行いました。また、年に一度安全運転管理者・防火管理者分科会については車両事故や避難訓練の状況の確認を書面上で行い共有しました。2月には保険会社からの安全運転講習をオンラインで実施しました。

⑥アート活動の推進

「すずかけ絵画クラブ」は、新型コロナウイルス感染症の状況に合わせ、縮小した形で実施したり、状況によっては中止にしたりしました。兵庫県立美術館での展覧会も延期しました。

「あたりえすずかけ」の活動も、回数を少し減らしながら実施しました。あたりえの商品の売り上げは、雑貨展の縮小や延期などで落ち込みましたが、商品の収入は利用者に工賃として還元しました。

6. 地域連携・地域貢献

①障害児等療育支援事業

支援ニーズがある人達がより暮らしやすい地域にするために、地域ニーズの把握に努め、必要な研修を企画しました。以下が実績になります。

- 1) 在宅支援訪問療育指導事業()内は前年度実績
(西宮41件(73) 尼崎8件(20) 2市と中核市を除く兵庫県下2件(13))
- 2) 在宅外来療育等指導事業
(西宮15件(85) 尼崎0件(4) 2市と中核市を除く兵庫県下※事業廃止のため0件)
- 3) 施設一般指導事業
(西宮64件(60) 尼崎22件(17) 2市と中核市を除く兵庫県下45件(45))

<研修会>

(他法人の支援者、保護者対象に公益的な企画)

10月15日	虐待防止
11月4日	ASDの理解と支援
11月11日	ASDの理解と支援
11月19日	ダウン症の理解と支援
11月26日	ダウン症の理解と支援
12月1日	ABA
12月8日	ABA
2月10日	自己理解の支援
2月17日	ASD事例報告会
3月17日	ASD事例報告会 (西宮市児童通所支援事業所連絡会との共催)

※ASD事例報告会にてカノン・カノン今津より各1例報告(県下の保護者対象)

ペアレンツクラブ(阪神福祉事業団 なくさ学園と共同開催)として保護者を対象に、性行動の理解と性の発達に関する講演の企画、実施。(3/1)

<勉強会>

なくさ学園と共催して、オンラインによる事例検討会を実施(3回)。カノンより1例事例提供。

②広報活動

一羊会フェイスブックを新たに開設し、日々の活動内容報告や職員の紹介などを行なっています。ホームページよりもより身近な形で、一羊会についての情報を発信しています。

「一羊会だより」は、コロナ禍においても、感染対策をしながら日々の工夫した活動報告の記事が中心となりました。

新しい情報を盛り込んで一羊会パンフレットをリニューアルする予定でしたが、これは実行できず2021年度の課題として残りました。

③実践発表会の開催

12月開催の予定で検討を進めていましたが、新型コロ

ナウイルス感染症の感染状況を鑑み、6月に今年度開催中止を決定しました。2021年度も新型コロナウイルス感染症の状況をみての判断とはなりますが、開催を想定した準備を管理者会議にて進めていきます。

④地域イベントへの参加

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、市民祭り等、地域のイベントがほぼ中止となっており、一羊会としても感染防止の観点からイベントごとへの参加を控えました。あとりえについては、店舗スペースをお借りする形で作品の展示や商品の販売を一部実施しました。1月には、上甲子園すずかけ作業所の菓子事業を、福祉的就労支援事業を行っているジョブステーション西宮が紹介されたベイコムチャンネルの「フロムにしのみや」の中で放映されました。

2021年度も新型コロナウイルスの感染状況等にもありますが、地域への情報発信をイベントへの参加に限らず可能な方法、範囲で行っていききたいと思います。

⑤地域貢献

2019年度7月に設立された西宮市社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネット西宮)は設立2年目となりますが、初年度に引き続き28法人で活動を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、大幅に活動予定や内容の変更をしましたが、オンラインを活用して、情報交換会や研修会を実施しました。

また、下記の各会合及び団体とのつながりについても、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面式での会議等の開催が困難な状況ではありましたが、特に新型コロナウイルス対策についての連携を密に行い、実際に陽性者が発生した法人の対応状況等の情報共有や関係団体で協力して支援体制を整える為の仕組み作りなどに取り組みました。関係機関との連携を密に行うことで、地域貢献だけではなく、法人内で新型コロナウイルス感染症対策を進めていく上でも有益な情報を得ることが出来ました。

<参加及び連携している団体>

市内	市外
西宮市障害福祉計画策定委員会 西宮市障害者施策推進懇談会 西宮市こども未来センター運営審議会 自立支援協議会運営委員会、事務局会議、各部会 ジョブステーション西宮 西宮ふれあいネットワーク 西宮市児童通所支援事業所連絡会 西宮商工会議所 西宮青年会議所 西宮市社会福祉協議会 西宮市手をつなぐ育成会	兵庫県知的障害者施設協会 近畿地区知的障害者施設協会 きょうされん兵庫支部 兵庫県社会就労センター 近畿社会就労センター NPO法人兵庫セルフセンター



1. 組織管理

課題となっている要職の複数体制化に向けて体制を検討していきます。まず、総務統括の引継ぎ及び複数化を進めていけるよう、改選後の体制や年度途中の異動も踏まえて進めていきます。理事長の補佐的役職についても人選を含め検討します。

もう一つの課題である役職者育成についても、研修やOJTにより、次の課長育成による部長の兼務解消、主任育成及び主任への昇格候補者育成を目指していきます。役職向けの研修も実施することで、管理職として経営やコンプライアンスを含めた事業運営力、責任感、管理意識をより高めていくよう取り組みます。

監事会については、引き続き法人のチェック機能としての役割を果たしていただけるよう協力して進めていきます。

2. 財務管理

2020年度まではすずかけ作業所移転建替に向けた資金繰りを中心としていましたが、ほぼ予定通りに支払資金の算段がつかまりました。今後は、経常の運営に加え、借入金返済、各事業所の修繕、職員の処遇改善等に資金を確保していく必要があります。2021年度に実施される報酬改定もコロナ禍の影響もあり法人全体としては大きな増額にはならず、現場の負担も踏まえた適切な人件費支出・人員配置、加算を確保できる体制や資格の取得、利用率の確保などを意識するとともに、採算を取ることが難しい事業の支え方(若しくは整理)も考慮しながら、安定した運営ができるよう、適切な収支バランスを考えていきます。また各事業所に本部から定期的に巡回し、経営状況把握、各課長の会計把握力の向上、本部での会計コントロールも進めていきます。

当会の管理する他団体の会計や各種預り金の扱いについては、引き続き本部把握していきます。公認会計士等外部の専門家も継続して活用し、指摘・指導を受けた事項に対する改善を進め、財務規律強化に向けて取り組みます。

3. 人材マネジメント

①人材確保

新卒採用については、マイナビ・リクナビなどの人材募集媒体を活用しての新卒採用活動と連動して、法人独自の就職説明会の開催(コロナの状況に応じて、対面式かweb式で行うかを柔軟に対応します)を実施します。

また、就職フェアにも参加します。

中途採用については、ハローワークやジョブメドレーといった人材紹介業者の活用、また派遣職員の採用を通じて、人材の確保に努めます。

②人材育成と定着

一羊会研修システムに基づいて、人材育成を実施していきます。研修は管理者会議で企画・実施していましたが、研修の中で利用者支援方法の研修については、2021年度に研修部会を新しく立ち上げ、その部分を担います。研修部会を特化したことにより、よりいっそう研修に力を入れていきます。

また、人材定着に向けて労働環境向上にも取り組んでいきます。

4. 事業展開

新すずかけ作業所が4月に竣工します。現利用者の利用開始は4月19日、他事業所からの異動利用者は5月からの利用開始を予定しています。これからの高齢化のニーズに対応できるようにサービス内容などを作り上げていきます。

グループホームについては、巡回型(夜勤職員が常駐していない)ホーム利用者や、バリアフリー化できていないホームの利用者の中で、高齢化による身体機能の低下などにより、所属のホームでの生活が難しくなった利用者が数人出てきています。従って、ジョイントホームの中で各人に適した住み替えを計画し、数年かけながら、利用者ニーズに合った事業展開を元浜ホームの開設も視野にilleて進めていきます。

北部の土地の活用については、人員・資金とも目処がつかない状況です。

5. 利用者支援サービス

①就労支援

2021年度も工賃アップを目指す利用者の収入確保や、高齢や重度の利用者の作業確保について、行政への要望を継続して行います。

各事業所の自主製品については、幅広く宣伝、販売ができるよう新たにフェイスブックを活用し、有効な方法を広報部会や各事業所と連携して検討し、取り組んでいきます。

就労継続支援事業B型の目標工賃(約¥30,000/月)達成に向けては、2020年度の受注額の大幅減、また、コロナウイルスの影響による販売収入減により厳しい状況です。一方で、報酬改定の見直しに伴い、改めて利用者の状況やニーズ、事業の特色を検証し、それに沿って各事業所間の作業内容や量の調整を行い、目標工賃に向けて取り組みます。

高工賃を目指す上甲子園すずかけ作業所の利用者確保については、就労支援センターや相談事業所等の関係機関と連絡を取りながら、継続して募集を行います。

②日中活動支援

各事業所で混在している利用者のニーズの整理に向けた重要な時期になります。利用者のニーズの充足の為に事業所の特色分けに取り組んでいき、5年先10年先も利用者が充実した毎日を送れる事を目指して進めていきます。

利用者の加齢による状態変化がありますが、個々のニーズを把握し専門職と連携しながら個別の日中活動プログラムを提供していきます。

③支援専門性の向上

法人全体の支援力向上は、制度改正でさらに支援の質の向上が問われているので、質の高いサービス提供は法人としての責務でもあります。研修部会を新たに創設し支援力向上に努めていきたいと思えます。

引き続き、法人として自閉症については外部よりスーパーバイザーを招き専門性の高いコンサルテーションの機会を確保します。

また、法人内にサービス向上部会（参加者は各事業所のサービス管理責任者）があり、勉強会や事例検討・グループワーク等を行うことで、幅広い支援の視点と支援技術を獲得していくことを目指します。サービス管理責任者が部会で得た知識や経験を現場職員に確実に伝えていくことで、各事業所がより質の高いサービスを提供できるように研修部会（新設）とも連動して進めていきます。また「利用者支援の自己評価」を行うことで、各事業所の強みや課題を確認・分析し、強みはさらに伸ばし、課題は改善に向けた取り組みを具体的に設定し、より良いサービス提供に繋げていけるように努めます。

④権利擁護・虐待防止

権利擁護に対する基本的な意識の向上のためには、職業倫理や意思決定支援に関する知識を深めることが大切です。それを実現させるために、研修部会やサービス向上部会と連携して、権利擁護部会で法人職員に対して虐待防止の基礎やアンガーマネジメントに関する研修を実施します。また、虐待防止につながる虐待防止法や差別解消法の理解について虐待防止マニュアルの見直しと並行して取り組みます。さらに、行動規範評価を年2回、サービス評価を年1回行うことで、職員自身が振り返る機会を定期的に持ちます。

2020年度に編集を進めた身近な虐待に関する事例集を基に各事業所で事例検討・話し合いを持つことで、現場で起きやすい権利侵害に対する認識を図ります。また、これに関するオープン部会を開催することで、法人全体で意識が共有できるよう努めます。

2022年度に虐待防止委員会の設置が義務化され、虐待防止のための研修や職場環境の改善などの取り組みや、虐待が疑われる案件が発生した際の再発防止策の検討等をする事が求められます。体制については以下のように想定しており、この体制の整備に向けて、研修を実施するとともに、各事業所における行動規範評価とサービ

ス評価の結果からそれに対する取り組みまでを可視化することと、行動規範評価の結果を基にした強化月間の実施など取り組みます。

<2022年度以降の制度に即した体制について>

各事業所に、管理者を委員長、サービス管理責任者等を虐待防止マネジャーとした虐待防止委員会を設置します。各事業所で取り組む内容は以下を想定しています。

- 1) 権利擁護部会が策定した研修計画に即して、事業所において研修を進める。
- 2) 職員が産業医等と定期的に面談する環境を作り、職員のストレスマネジメントに努める。
- 3) 行動規範評価を実施し、事業所における課題の抽出とそれに対する取り組みを行う。
- 4) サービス評価を実施し、事業所における支援環境やマニュアル等の整備状況を把握しその環境の整備に関して事業計画に立案して職員に取り組みを周知することで、支援マニュアル等に関する職員間の認識の差を解消する。
- 5) 虐待事案があった時の事象の経緯の確認と、それに対する再発防止策を進める。

権利擁護部会は、各事業所の虐待防止マネジャーを部会員として以下の内容を検討する場と想定しています。

- 1) 研修計画を策定し、各事業所における進捗の確認を行う。
- 2) 各事業所における職員のストレスマネジメントの状況を共有し労働環境の確認を行う。
- 3) 各事業所の行動規範評価結果を共有し、それに対する取り組みについて意見交換を行う。
さらにその取り組みの進捗を確認することで、取り組みの実効性を高める。
- 4) 各事業所においてサービス評価とそれに対する取り組みが適切に行われているかを確認する。
- 5) 虐待事案があった場合に、定例、または臨時部会において情報を共有しマニュアルに沿って適切に対応が進められているかを確認する。さらに、その事案を基に、法人全体に対して報告や研修を実施する。

⑤危機管理

各事業所の事故の情報を共有し、頻発している事故や大きな事故について、その要因を分析し再発防止に向けた意見交換を行います。また、事故報告・ヒヤリハットの報告書を有効的に機能させるために書式の見直し等活用方法について検討します。

新型コロナウイルス感染症について、2021年度作成した予防に関する既存のマニュアルを必要な時に活用できるよう整理します。感染症におけるBCPの見直しを進めていきます。

また、行方不明時対応マニュアルについて、警察への届け出時に求められる必要事項をスムーズに記載できるよう行方不明利用者のフェイスシートのフォームを見直

します。

交通安全や熱中症、感染症の流行時期に合わせた啓発を定期的に行います。

避難訓練・応急救護研修・消防自主点検の実施状況の確認を継続して行います。また、年に一度安全運転管理者・防火管理者分科会を開催し、車両事故や消防に関する課題について検討します。

⑥アート活動の推進

「すずかけ絵画クラブ」は2020年度から縮小していますが、その形で引き続き毎月活動を実施していきます。2021年6月には、絵画クラブメンバー2名の大規模な展覧会を兵庫県立美術館ギャラリー棟で開催します。開催に向けての資金作りや宣伝のためにクラウドファンディングを活用します。

あとには、利用者が思い思いに表現活動をする場を提供するとともに、雑貨展への出展、独自の雑貨展の開催を通じて、作家としての利用者とその創作物の魅力を内外に発信していきます。また、商品の収入は利用者に適正な工賃として還るようにします。

6. 地域連携・地域貢献

①障害児療育等支援事業

支援のニーズがある人がより暮らしやすい地域にするために、西宮をはじめ、近隣地域のご本人やご家族から療育に関する相談受付（外来）、家庭や保育所・幼稚園・学校や施設などへ訪問しご本人への対応（訪問）、それらの機関に対して環境整備や支援の工夫、連携に関する提案を行います（施設支援）。ご本人・ご家族・支援に関わる各機関などとの関わりから地域のニーズを把握し、ニーズに応じた研修会を企画・実施することで、地域で受けられる支援の質の向上を図ります。ただし、体制的に可能な範囲で実施します。

②広報活動

2021年度には広報部会を立ち上げ、より一層広報活動に努めます。特に重点を置きたいのは自主製品の宣伝活動です。2020年度後半から立ち上げた一羊会フェイスブックを活用して、より自主製品の広報に力を入れています。採用活動や各事業所の日々の取り組みの発信を一羊会だより、ホームページ、インスタグラムで実施することも継続していきます。

③実践発表会の開催

2020年度は新型コロナウイルス感染状況の影響で中止となり、2021年度も状況をみでの判断とはなりますが、開催を想定した準備を管理者会議にて進めていきます。

実践発表会は、外部の方に法人の活動内容を知ってもらえること、発表する職員にとってもよい経験の場になることから、より多くの方に参加していただくために、市政ニュースへの掲載依頼、関係団体への案内やホームページへの掲載、メール等での広報活動を幅広く行います。

④地域イベントへの参加

新型コロナウイルス感染状況により地域イベントの参加は難しいと思いますが、しょうがいがある人たちへの理解をすすめる啓発イベント等への参加や出店を可能な範囲で実施します。

⑤地域貢献

下記の各会合及び団体とつながりながら連携を密にしつつ、可能な範囲で、地域課題の解決に向けて、障害分野だけではなく児童・高齢分野も含めたネットワークの構築などの地域貢献活動を進めていきます。

<参加及び連携している団体>

市内	市外
西宮市障害福祉計画策定委員会	兵庫県知的障害者施設協会
西宮市障害者施策推進懇談会	近畿地区知的障害者施設協会
西宮市社会福祉法人連絡協議会	きょうされん兵庫支部
自立支援協議会運営委員会、事務局会議、各部会	兵庫県社会就労センター
ジョブステーション西宮	近畿社会就労センター
西宮ふれあいネットワーク	NPO法人兵庫セルフセンター
西宮市児童通所支援事業所連絡会	
西宮商工会議所	
西宮青年会議所	
西宮市社会福祉協議会	
西宮市手をつなぐ育成会	

2020年度 法人単位資金収支計算書

自 2020年4月1日 至 2021年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	就労支援事業収入	133,013,321	136,532,249	- 3,518,928	
	障害福祉サービス等事業収入	1,274,734,040	1,284,725,497	- 9,991,457	
	経常経費寄附金収入	15,922,050	16,743,476	- 821,426	
	受取利息配当金収入	40,214	46,336	- 6,122	
	その他の収入	17,331,391	17,662,315	- 330,924	
	事業活動収入計(1)	1,441,041,016	1,455,709,873	- 14,668,857	
支出	人件費支出	958,129,491	952,091,000	6,038,491	
	事業費支出	135,994,720	133,662,489	2,332,231	
	事務費支出	158,933,242	154,139,939	4,793,303	
	就労支援事業支出	132,529,869	135,145,527	- 2,615,658	
	支払利息支出	206,297	206,297	0	
	その他の支出	7,521,050	6,998,412	522,638	
	事業活動支出計(2)	1,393,314,669	1,382,243,664	11,071,005	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	47,726,347	73,466,209	- 25,739,862		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	295,633,000	295,633,000	0	
	施設整備等寄附金収入	9,680,000	9,680,000	0	
	設備資金借入金収入	120,000,000	120,000,000	0	
	固定資産売却収入	1,567,180	1,567,180	0	
	施設整備等収入計(4)	426,880,180	426,880,180	0	
	支出				
設備資金借入金元金償還支出	2,792,000	2,792,000	0		
固定資産取得支出	698,713,286	699,547,299	- 834,013		
ファイナンスリース債務の返済支出	3,318,510	3,236,119	82,398		
施設整備等支出計(5)	704,823,796	705,575,411	- 751,615		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	- 277,943,616	- 278,695,231	751,615		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	29,900,000	28,500,000	1,400,000	
	その他の活動による収入	16,486,954	16,238,301	248,653	
	その他の活動収入計(7)	46,386,954	44,738,301	1,648,653	
	支出				
	積立資産支出	33,700,000	58,991,594	- 25,291,594	
	その他の活動による支出	25,150	18,000	7,150	
その他の活動支出計(8)	33,725,150	59,009,594	- 25,284,444		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	12,661,804	- 14,271,293	26,933,097		
予備費支出(10)	6,700,000	-	6,700,000		
	- 5,340,618	-	1,359,382		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	- 218,914,847	- 219,500,315	585,468		
前期末支払資金残高(12)	547,990,691	547,990,691	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)	329,075,844	328,490,376	585,468		

注 予備費 5,340,618 円は、事業費支出に 2,077 円、事務費支出に 838,541 円、積立資産支出に 4,500,000 円流用

2020年度 法人単位事業活動計算書

自 2020年4月1日 至 2021年3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	就労支援事業収益	136,532,249	148,743,443	- 12,211,194
	障害福祉サービス等事業収益	1,284,725,497	1,264,660,827	20,064,670
	経常経費寄附金収益	16,743,476	11,588,200	5,155,276
	その他の収益	157,437	328,906	- 171,469
	サービス活動収益計(1)	1,438,158,659	1,425,321,376	12,837,283
	費用			
人件費	953,042,164	926,543,320	26,498,844	
事業費	133,999,449	137,891,174	- 3,891,725	
事務費	154,139,939	162,945,207	- 8,805,268	
就労支援事業費用	138,919,546	150,051,867	- 11,132,321	
減価償却費	69,337,369	67,449,419	1,887,950	
国庫補助金等特別積立金取崩額	- 32,453,739	- 32,446,682	- 7,057	
サービス活動費用計(2)	1,416,984,728	1,412,434,305	4,550,423	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	21,173,931	12,887,071	8,286,860	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	46,336	43,324	3,012
	その他のサービス活動外収益	23,653,032	17,656,119	5,996,913
	サービス活動外収益計(4)	23,699,368	17,699,443	5,999,925
	費用			
	支払利息	206,297	121,491	84,806
	その他のサービス活動外費用	8,029,464	9,364,898	- 1,335,434
サービス活動外費用計(5)	8,235,761	9,486,389	- 1,250,628	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	15,463,607	8,213,054	7,250,553	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	36,637,538	21,100,125	15,537,413	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	295,633,000	2,730,000	292,903,000
	施設整備等寄附金収益	9,680,000	3,268,320	6,411,680
	固定資産売却益	1,567,178	0	1,567,178
	特別収益計(8)	306,880,178	5,998,320	300,881,858
	費用			
	基本金組入額	8,000,000	0	8,000,000
固定資産売却損・処分損	19	114,601	- 114,582	
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	- 1	0	- 1	
国庫補助金等特別積立金積立額	296,963,000	1,000,000	295,963,000	
特別費用計(9)	304,963,018	1,114,601	303,848,417	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	1,917,160	4,883,719	- 2,966,559	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	38,554,698	25,983,844	12,570,854	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	1,050,063,713	1,044,149,869	5,913,844
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,088,618,411	1,070,133,713	18,484,698
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	28,500,000	0	28,500,000
	その他の積立金積立額(16)	47,705,000	20,070,000	27,635,000
				0
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,069,413,411	1,050,063,713	19,349,698

法人単位貸借対照表

2021年3月31日現在

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減	科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	732,924,165	612,092,369	120,831,796	流動負債	447,927,024	99,746,776	348,180,248
現金預金	186,335,361	350,243,408	- 163,908,047	事業未払金	397,029,620	56,606,483	340,423,137
事業未収金	217,987,214	236,314,234	- 18,327,020	1年以内返済予定設備資金借入金	6,072,000	2,052,000	4,020,000
未収補助金	305,397,175	5,519,300	299,877,875	未払費用	979,173	0	979,173
商品・製品	1,059,753	1,149,298	- 89,545	預り金	2,716,031	2,758,727	- 42,696
仕掛品	267,025	200,795	66,230	職員預り金	0	- 200,034	200,034
原材料	1,879,027	3,249,449	- 1,370,422	仮受金	166,200	0	166,200
立替金	374,904	863,603	- 488,699	賞与引当金	40,964,000	38,529,600	2,434,400
前払金	11,535,446	7,197,373	4,338,073	固定負債	261,411,688	143,580,204	117,831,484
1年内長期前払費用	336,960	336,960	0	設備資金借入金	127,381,000	14,193,000	113,188,000
仮払金	99,200	38,149	61,051	リース債務	5,598,720	0	5,598,720
仮払消費税等	7,652,100	6,979,800	672,300	退職給付引当金	128,431,968	129,387,204	- 955,236
固定資産	2,353,910,116	1,697,666,222	656,243,894	負債の部合計	709,338,712	243,326,980	466,011,732
基本財産	1,645,002,687	1,053,376,494	591,626,193	純 資 産 の 部			
土地	307,703,100	307,703,100	0	基本金	267,316,507	259,316,507	8,000,000
建物	1,337,299,587	745,673,394	591,626,193	国庫補助金等特別積立金	644,241,651	379,732,391	264,509,260
その他の固定資産	708,907,429	644,289,728	64,617,701	その他の積立金	396,524,000	377,319,000	19,205,000
土地	31,725	31,725	0	施設整備等積立金	246,500,000	235,000,000	11,500,000
建物	41,433,852	45,314,566	- 3,880,714	人件費積立金	0	2,000,000	- 2,000,000
構築物	71,670,505	39,004,273	32,666,232	修繕積立金	59,900,000	54,900,000	5,000,000
機械及び装置	535,992	724,505	- 188,513	備品等購入積立金	29,000,000	26,500,000	2,500,000
車輛運搬具	1,409,884	561,895	847,989	工賃変動積立金	23,305,000	21,360,000	1,945,000
器具及び備品	63,323,739	29,372,513	33,951,226	設備等整備積立金	37,819,000	37,559,000	260,000
建設仮勘定	0	23,897,800	- 23,897,800	次期繰越活動増減差額	1,069,413,411	1,050,063,713	19,349,698
有形リース資産	5,598,720	0	5,598,720	(うち当期活動増減差額)	38,554,698	25,983,844	12,570,854
権利	6,017,499	5,530,734	486,765	純資産の部合計	2,377,495,569	2,066,431,611	311,063,958
ソフトウェア	4	17,643	- 17,639	負債及び純資産の部合計	3,086,834,281	2,309,758,591	777,075,690
退職給付引当資産	100,389,109	100,205,714	183,395				
差入保証金	21,130,000	21,130,000	0				
長期前払費用	842,400	1,179,360	- 336,960				
施設整備等積立資産	246,500,000	235,000,000	11,500,000				
工賃変動積立資産	23,305,000	21,360,000	1,945,000				
設備等整備積立資産	37,819,000	37,559,000	260,000				
人件費積立資産	0	2,000,000	- 2,000,000				
修繕積立資産	59,900,000	54,900,000	5,000,000				
備品積立資産	29,000,000	26,500,000	2,500,000				
資産の部合計	3,086,834,281	2,309,758,591	777,075,690				

2021年度 法人単位資金収支予算

(自) 2021年4月1日 (至) 2022年3月31日

(単位:円)

勘 定 科 目		2021年度予算額	2020年度予算額	増 減 額	備 考
事業活動による収支	収入				
	就労支援事業収入	121,392,000	133,013,321	- 11,621,321	
	障害福祉サービス等事業収入	1,291,329,033	1,274,734,040	16,594,993	
	経常経費寄附金収入	1,335,000	15,922,050	- 14,587,050	
	受取利息配当金収入	40,260	40,214	46	
	その他の収入	11,692,300	17,331,391	- 5,639,091	
	事業活動収入計(1)	1,425,788,593	1,441,041,016	- 15,252,423	
支出	人件費支出	992,368,546	958,129,491	34,239,055	
	事業費支出	135,468,564	135,992,643	- 524,079	
	事務費支出	182,392,885	158,094,701	24,298,184	
	就労支援事業支出	123,454,970	132,529,869	- 9,074,899	
	支払利息支出	587,316	206,297	381,019	
	その他の支出	7,184,000	7,521,050	- 337,050	
	事業活動支出計(2)	1,441,456,281	1,392,474,051	48,982,230	
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	- 15,667,688	48,566,965	- 64,234,653		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	0	295,633,000	- 295,633,000	
	施設整備等寄附金収入	1,000,000	9,680,000	- 8,680,000	
	設備資金借入金収入	0	120,000,000	- 120,000,000	
	固定資産売却収入	0	1,567,180	- 1,567,180	
	施設整備等収入計(4)	1,000,000	426,880,180	- 424,313,000	
支出	設備資金借入金元金償還支出	6,072,000	2,792,000	3,280,000	
	固定資産取得支出	26,096,670	698,713,286	- 672,616,616	
	ファイナンスリース債務の返済支出	4,366,560	3,318,510	1,048,050	
	施設整備等支出計(5)	36,535,230	704,823,796	- 668,288,566	
	施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	- 35,535,230	- 277,943,616	243,975,566	
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	10,400,000	29,900,000	- 19,500,000	
	その他の活動による収入	0	16,486,954	- 16,486,954	
	その他の活動収入計(7)	10,400,000	46,386,954	- 35,986,954	
	支出	積立資産支出	13,465,000	29,200,000	- 15,735,000
その他の活動による支出	0	25,150	- 25,150		
その他の活動支出計(8)	13,465,000	29,225,150	- 15,760,150		
その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	- 3,065,000	17,161,804	- 20,226,804		
予備費支出(10)	6,003,126	6,700,000	- 696,874		
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)	- 60,271,044	- 218,914,847	160,210,983		
前期末支払資金残高(12)	329,075,844	547,990,691	- 218,914,847		
当期末支払資金残高(11) + (12)	268,804,800	329,075,844	- 60,271,044		

一羊会後援会のページ

ご挨拶

会長 太田 博

大変遅くなりましたが、2021年度一羊会後援会総会のご報告をさせていただきます。

今総会もコロナ禍という事で文書の送付による決議の形式で実施させていただきました。

書面決議書締切日の7月15日を総会開催日といたします。

発送数336通、返信数201通のうち全議案賛成が196通、無回答での返信が5通ありました。

過半数を満たしていましたので総会の議案すべてが可決しましたことをご報告致します。ありがとうございました。尚、2021年度予算の増減欄に記載間違いがありました事をお詫びいたします。このページをお借りして修正させていただきましたことをご了承くださいませ。

さて、一羊会後援会として長きに渡り後援活動を続けておりますが、初代長久理事長の頃より応援いただいている方々をはじめ、一羊会の取り組みの過程で新たに応援いただいている方々など多岐に渡り一羊会の応援団として繋がっていただいていることが、金額的応援もさることながら、大きな宝だと思えます。

このつながりに感謝の念を忘れることなく引き続き一羊会を応援してまいります。

<2020年度事業報告概要>

実務体制について、補充の必要状況は継続していません。

販売事業は昨年度同様カレンダー販売のみを実施しました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。また、募金箱の作成についてはリーフレットのリニューアルと併せて概ね完成しましたので、会員の拡大及び募金箱設置に向けて具体化していきます。

<2021年度役員体制について>

2021年度は役員改選の年度となりますが、役員については2020年度の役員体制で引き続き取り組むことになりました。

引き続きご支援の程よろしく願いいたします。

2021年度 後援会役員一覧 (任期：2021年7月15日～2023年総会開催時迄)

(敬称略)

役職名	氏名	現在の役職等
会長	太田 博	(株)GEOソリューションズ 代表取締役会長
副会長	本田 洋子	(一社)西宮市手をつなぐ育成会 会長
副会長	三浦 昇	(福)一羊会 理事長
理事	泉 明子	(一社)西宮市手をつなぐ育成会 副会長
理事	北本 宝	(一社)西宮青年会議所 監事
監事	長谷 隆行	長谷隆行公認会計士-税理士事務所 代表
監事	梅谷 正子	(一社)西宮市手をつなぐ育成会 副会長

<2021年度事業計画概要>

事務局体制の安定化に向けて取り組むと共に、会員の維持拡大を計画の柱とし、新しいリーフレットの配布による新規会員の増員に向けて協力依頼を行っていきます。

又、新しく作成した募金箱の設置に向けては当面30箱を一羊会事業所をはじめ、各企業、団体を訪問し、協力をお願いしてまいります。

又、カレンダー販売にも例年通り取り組みます。引き続きご協力の程よろしく願い致します。



2020年度収支決算

貸借対照表

2021年3月31日現在

単位：円

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
普通預金 三井住友銀行	112,916	未払金	一羊会へ寄付
普通預金 ゆうちょ銀行	444,018		
ゆうちょ銀行 振替口座	1,218,219		
現金	90,549	当期繰越金	365,702
資産合計	1,865,702	負債・純資産合計	1,865,702

収支計算書

自2020年4月1日 至2021年3月31日

収入の部 単位：円

科目	予算	決算	増減	内訳
会費寄付金収入	2,000,000	1,495,944	△504,056	
会費	1,000,000	858,000	△142,000	
寄付金	1,000,000	637,944	△362,056	
事業収入	500,000	372,810	△127,190	
募金事業	100,000	0	△100,000	
販売事業	400,000	372,810	△27,190	カレンダー販売
雑収入	100	1	△99	受取利息他
前年度繰越金	474,428	474,428	0	
収入合計	2,974,528	2,343,183	△631,345	

支出の部 単位：円

科目	予算	決算	増減	内訳
事務費	190,000	131,988	△58,012	
通信費	40,000	30,975	△9,025	郵送料、切手代
振替手数料	30,000	30,110	110	会費等振替手数料
印刷費	100,000	68,800	△31,200	振替用紙、受領証印刷費
会議費	10,000	600	△9,400	会議室使用料
消耗品費	5,000	0	△5,000	
雑費	5,000	1,503	△3,497	振込手数料・残高証明他
事業活動経費	250,000	345,493	95,493	カレンダー仕入代金、募金箱代金等
寄付金支出	2,000,000	1,500,000	△500,000	一羊会へ寄付
委託料	0	0	0	
小計	2,440,000	1,977,481	△462,519	
当期収支差額	534,528	365,702	△168,826	
支出合計	2,974,528	2,343,183	△631,345	

2021年度 予算

自2021年4月1日 至2022年3月31日

収入の部 単位：円

科目	前年度決算額	本年度予算額	増減	内訳
会費寄付金収入	1,495,944	2,000,000	504,056	
会費	858,000	1,000,000	142,000	
寄付金	637,944	1,000,000	362,056	
事業収入	372,810	700,000	327,190	
募金事業	0	300,000	300,000	募金箱収入
販売事業	372,810	400,000	27,190	カレンダー販売収入
雑収入	1	10	9	預金利息等
前年度繰越金	474,428	365,702	△108,726	
収入合計	2,343,183	3,065,712	722,529	

支出の部 単位：円

科目	前年度決算額	本年度予算額	増減	内訳
事務費	131,988	190,000	58,012	
通信費	30,975	40,000	9,025	郵送料、切手代
振替手数料	30,110	30,000	△110	会費等振替手数料
印刷費	68,800	100,000	31,200	リーフレット・振替用紙印刷費
会議費	600	10,000	9,400	会議室使用料
消耗品費	0	5,000	5,000	お茶等
雑費	1,503	5,000	3,497	振込手数料、残高証明等
事業活動経費	345,493	350,000	4,507	カレンダー仕入、募金活動諸経費
寄付金支出	1,500,000	2,000,000	500,000	一羊会へ寄付
小計	1,977,481	2,540,000	562,519	
当期収支差額	365,702	525,712	160,010	
支出合計	2,343,183	3,065,712	722,529	

*事務局よりお詫びと補足説明

1. 総会資料の2021年度予算の支出の部、当期収支差額と支出合計欄の増減額の記載に誤りがありました。修正した額を記載しておりますのでご了承ください。申し訳ありませんでした。
2. 総会資料に記載していましたが2021年度予算の委託料の科目は特に必要ないので削除いたしました。

法人・事業所御寄付の報告(敬称略・順不同)

2021年2月1日～2021年6月30日

*法人

秦勝己・秦芳子 岡崎公典 西宮市手をつなぐ育成会 (社福)光耀会
 武庫川すずかけ作業所保護者会 岡本征 三浦昇(3件) 塩谷健介 11件

*一羊園

匿名(3件) 田中夫佐子 高野重子 笹川カラル 井上和巳 森野和雄 簾編宗秋 山口 苑 杉本信子
 中島一敏 岡田宏之 公原 功 吉村武代 河津陸子 天野朗代 濱 伸子 北村典子 関本直記
 芝 桂子 脇田捷也 大山 浩 岩原裕子 矢萩祐子 種継喜美子 川越アケミ 27件

*すずかけ作業所

すずかけ作業所保護者会 すずかけ第2作業所保護者会 すずかけ労働センター保護者会 匿名(2名)
 上甲子園すずかけ作業所保護者会 舛次和子 佐川周助 8件

*すずかけ労働センター

すずかけ労働センター保護者会 1件

*武庫川すずかけ作業所

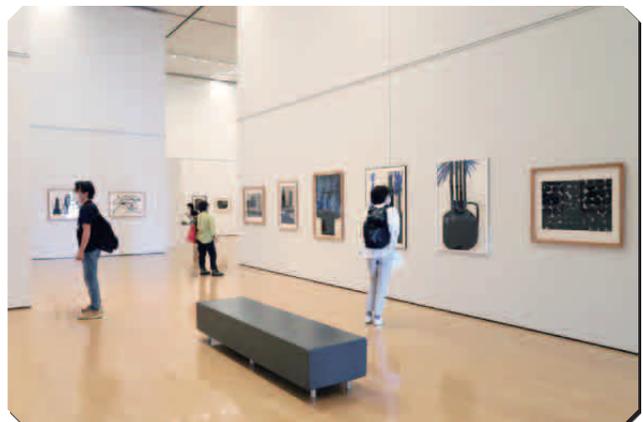
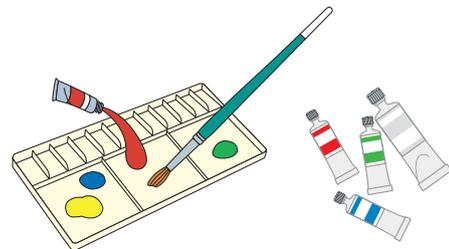
平野弘子(3件) 武庫川すずかけ作業所保護者会(2件) 塩口秀美 6件

◆ 助成金の御礼 ◆

今回の一羊会だよりも掲載されている展覧会『舛次崇～静かなまなざし～』『富塚純光～かたりべの記憶～』の開催にあたり、助成金の交付を頂きました。おかげをもちまして素晴らしい展覧会となりました。改めて厚く御礼申し上げます。

●助成頂いた団体(順不同)

公益財団法人 日本財団 様
 公益財団法人 三菱UFJ信託地域文化財団 様
 公益財団法人 朝日新聞文化財団 様



いつもご協力・ご支援ありがとうございます!!

2020年度一羊会後援会会費(敬称略・順不同)

(2021年2月1日~2021年3月31日までのご納入分を記載)

*個人の部

梅澤茂樹(2口) 山本圭吾 上甲子園すずかけ作業所保護者会(13口) 3件

2021年度一羊会後援会会費(敬称略・順不同)

(2021年2月1日~2021年7月31日までのご納入分を記載)

*法人・団体の部

(一財)高友福祉積善会 (宗)圓滿寺 大関エステート(株) (株)OfficeK 甲山大師神呪寺 (株)ジーホワイト
大喜建設(株) (株)大明 (株)瀧川薬局 西宮市民踊協会 阪神園芸(株) (株)前中地所
三日月建設(株) (株)メックテクニカ (株)ヤマサ環境エンジニアリング レンマ(株)
社会保険労務士法人溝口社会保険労務士事務所 (株)ケージークレセント(2口) 18件

*個人の部

天野朗代 飯森隆年 伊藤節子(2口) 井上尚子 今西永兒 岩井久美子 岩原裕子(2口)
岩本建熙 大前繁雄 大前はるよ 大目修平 大山浩 緒方満智 岡村英幸
小川加代子 小川猛 奥嶋育子 片山寛子 鎌谷泰子 唐沢文子 川上隆弘
北川泰寿 久保田晴子 車田光子 坂上明 笹川利彦(2口) 篠原正寛 柴田美子
千翔有峰 副島宏克 高林恵子 田中美英子(2口) 谷矢吉夫 西田智子 橋本真理
長谷隆行 長谷川幸 濱伸子 早川典江 日高昭夫 藤井圭子 二橋俊輔
本田洋子 前川拓郎(5口) 光武眞里 宮崎龍雄(2口) 森田順 森野和雄 矢萩祐子(5口)
山岡敬子(2口) 山本加津美 吉田幾久世 吉野千栄子 すずかけ第2作業所保護者会(46口)
武庫川すずかけ作業所保護者会(56口) すずかけ作業所保護者会(47口) 56件

2020年度一羊会後援会御寄付(敬称略・順不同)

(2021年2月1日~2021年3月31日のご入金分を掲載)

*法人・団体の部

上野神社 関西学院中学部生徒一同 学校法人神戸女学院チャプレン室 3件

*個人の部

中島一敏 1件

2021年度一羊会後援会御寄付(敬称略・順不同)

(2021年2月1日~2021年7月31日のご入金分を掲載)

*法人・団体の部

甲山大師神呪寺 甲南防災設備(株) サンコウ消毒(2口) (株)ビー・プランニング 法心寺
社会保険労務士法人溝口社会保険労務士事務所 6件

*個人の部

天野朗代 井上尚子 岩井久美子 大目修平 小川加代子 片山寛子 鎌谷泰子 唐沢文子 川上隆弘
簾編宗秋 高谷知子 谷矢吉夫 長谷隆行 早川典江 本田洋子 前川拓郎 宮崎龍雄 宮脇葉子
森野和雄 山岡敬子 山本加津美 吉田幾久世 22件

口座名義 一羊会後援会 【銀行】三井住友銀行 西宮支店 普通 3007061 【郵便振替口座】01190-8-66322

※受領証については、払込取扱票の振替払込請求書兼受領書をもって後援会の受領証とさせていただきます。

別途受領証が必要な場合はお知らせください。

Boleh(ボレ)はマレーシア語で「できる」を意味します。

このページでは地域共生をテーマとし、一羊会と地域の皆様方とのつながりをお伝えしていきます。

突撃！「わかくさ印刷」

今回紹介させて頂くのは、阪神武庫川駅にほど近い西宮市小松南町に事務所と工場を構える印刷会社「わかくさ印刷」さん。一羊会が、数年前から広報誌やリーフレット等の作製をお願いしている会社です。



株式会社わかくさ印刷は、学生時代にドイツで印刷を学んだ経歴を持つ社長の光本好雄さんが昭和53年に設立され、現在は社長を含む6名の方が働かれています。ワンフロアの工場スペースでは、デザインから印刷、製本と全ての印刷業務の工程を自社で行うことが可能。使用している印刷機はドイツのハイデルベルグ社製です。「とにかく機械が大好き」と笑顔で語る社長のこだわりが伺えます。また、有害な物質が多く含まれる湿し水を全く使用することのない「水なし印刷」という印刷方式を早くから導入されていて、環境配慮への取り組みも熱心に進めておられます。

取材をさせて頂いてとにかく驚いたのは、印刷機を扱うオペレーターの方が、デザイナーでもあるということでした。Macのパソコンでデザインをしつつ、製版もして印刷機を動かし、製本作業まで担当できる技術を持っておられます。印刷業務をこなされているのは女性おふたりなのですが、印刷作業を女性が中心となって行っている職場というのも、この業界ではなかなか珍しいことだそうです。

そんな会社のモットーとして語ってくださったのは、「お客様に最大限寄り添うという姿勢」についてでした。近隣の学校等の印刷物の仕事を受けることも多いことから、学生さんや地域の皆さんと一緒に仕事をすることもよくあるとのこと。過去に製作してきた発表会やイベントで使用したパンフレットなどの印刷物をたくさん見せて頂き、ひとつひとつの印刷物にまつわるエピソードをお聞きました。クライアントの思いに共感し、寄り添ってきたわかくさ印刷さんのポリシーがそこ



には確かに詰まっていた。

そんな、環境にもお客さんにも優しい「町の頼れる印刷屋」さんの手によって、この一羊会だよりは発行されています。

